

サポートセンター通信

No. 69



平成29年度市民活動サポートセンター事業計画

●プラチナサロン 毎月第2木曜日 10:00~15:00

プラチナ世代の地域デビューを応援します！毎月“プラチナサポーターズ松本”の各講師陣による講座を行っています。夏には外部講師をお迎えして、傾聴ボランティア養成講座も開催する予定です。年度末には毎年恒例のプラチナフォーラムも行う予定です。仲間づくりや地域デビューのきっかけ作りに、ぜひご参加ください。男性の参加者も募集中です！

●ふれあいサロン 次回は7月13日(木)

午前中は、障がい者就労支援施設の皆さんとの交流も兼ねた販売会を行います。午後には、職員やサポートセンター利用者とピアノの生演奏に合わせて、季節の歌を楽しく歌います。販売会では、手作りのお弁当やおいなりさん、おやきやクッキーなど美味しいものから手芸作品にいたるまで、毎回多種多様な品物が並ぶので必見です。どなたでもご参加いただけますので、お気軽にサポートセンターへお越しください！

※詳しい時間については、4ページをご覧ください。

●市民活動講座

前年度のNPOセミナーで寄せられたアンケートをもとに、市民活動の基礎知識や団体の設立の仕方などを中心にお伝えしていきます。また、講座を受講するだけでなく、参加者同士の交流が深められるよう、ワークショップも行う予定です。「市民活動ってなに?」「活動したいけど、何から行動すればいいかわからない」という方、ぜひご参加ください。

●しみんサロン

官民協働による地域づくりを目指し、共通のテーマに取り組む団体が課題解決に向けて意見交換とネットワークづくりを行っています。これまでも、さまざまな分野でのサロンが立ち上がっていましたが、「このテーマで新たに意見交換をしたい!」という方や団体がおられましたら、サポートセンター職員へご相談ください。



市民活動フェスタ2017in 松本について

3月28日(火)に、「市民活動フェスタ2017in 松本」についての意見交換会を行いました。会場の変更をするか、いかに市民活動フェスタを多くの市民に認知してもらうか等、様々な意見が交わされました。

そんな中、決定したのは以下の2点です。

①松本市民活動サポートセンターで開催する

②歩行者天国になるような大きなイベント(例:市民祭)に合わせて開催する

なお、より多くの団体の皆さんから意見をいただくため、5月31日(水) 19:00~市民活動サポートセンターにて2回目の意見交換会を行います。多くのみなさんのご参加をお待ちしております。(別紙参照)

団体登録内容確認のお願い

新年度となりましたので、現在のお届け内容のご確認をお願いいたします。

変更・廃止等ございましたら、同封いたしました登録団体申請書にご記入いただき、郵送、FAXまたは窓口までご提出ください。変更がない場合も、確認書に署名・捺印のうえご提出ください。

また、サポートセンターのHPより登録団体申請書をダウンロードしていただけますので、メールでのご提出も承っております。大変お手数をおかけいたしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。(別紙参照)

NPO 法人 中信多文化共生ネットワーク

住所：松本市南浅間 576-11
TEL：0263-46-0140
HP：http://ctntabunka.jp/



*代表理事の佐藤友則さん

2008年に会員約40名で発足したNPO法人中信多文化共生ネットワーク（CTN）は、外国に由来を持つ方との「安全で豊かな共生社会の実現」をめざす活動をしているNPO法人です。長野県に認可され、松本市から2つの大きな事業を委託されています。主な活動としては、外国由来の方の何でも相談等をしている「松本市多文化共生プラザ」、子ども達の日本語支援をしている「松本市子ども日本語教育センター」、教え方も学習者も相手も多様な3つの日本語教室、力のある人を活かす「多文化人財センター」国際交流のお祭り「こいこい松本」、松本山雅との共催の「子どもサッカー教室」等、多彩です。

代表理事の佐藤友則さんに、会員になると良いことがたくさんあると聞きましたが、たとえばどんなことが挙げられるのか、伺いました。

まずは、色々な経験を持った外国由来の方と接し

て楽しく世界を広げられるということ。メーリングリスト等で、外国由来の方との交流イベントやお祭り等の様々な情報が入ってくるそうです。さらに外国由来の方に日本語を教えたい、外国語を教えるほしいといった要望に、何らかの形で応える事ができます。何と云っても、少子高齢化、人口減少、活力不足といった将来の日本の問題解決にも繋がるので、これらの話をする仲間が増えるといえます。

佐藤さんは信州大学グローバル教育推進センターの教授でもあるので、活動には多くの学生が関わっています。しかし、卒業後も活動を続ける学生は多くありません。ぜひ多くの松本市民の方々に会員になっていただき、日本人も、外国に由来を持つ方も共に生きてゆけ、誰もが違いを認め合い仲良く暮らせる「多文化共生」のまちづくりをしたいと熱く語っていただきました。（山崎）

公益社団法人 長野県社会福祉士会

住所：長野市南県町 685-2 長野県食糧会館 6F
TEL：026-266-0294
HP：http://nacsww.jp



*会議のようす

公益社団法人長野県社会福祉士会は、会員数1,000人を超える組織です。会長の三村仁志さんに、活動についてお聴きしました。

1992年に任意団体として設立され、2016年に公益社団法人となりました。2013年に会員数は1,000人を超えました。社会福祉士は、疾病や障害、生活状況など様々な理由によって、日常生活を送ることが困難になった人の相談を受け、安定した生活ができるようサポートする仕事です。社会福祉士個人の使命を全うするためにも、当会は3つの機能を持ち合わせています。

1つ目は研修機能です。認定社会福祉士の研修制度があり、基礎研修から認定上級までのキャリアアップの体系を整備し、社会状況に対応していくようにしています。その他にも、去年は災害福祉支援、高齢者虐待対応、成年後見人養成等の研修を行っています。

2つ目はネットワーク機能です。私達は現場にお

いて、福祉・医療・教育関係者等との連携の連絡及び調整を行います。人間の尊厳の尊重、権利擁護、地域定着支援が行われるよう、様々な専門職とのネットワーク構築を行っています。昨年、当会と県弁護士会は「高齢者・障がい者虐待対応専門職チーム」を結成しました。

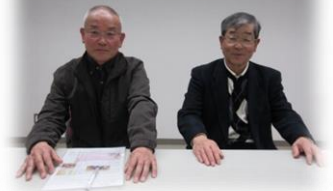
3つ目は社会改革・改良機能です。社会へ声明の発信、要望活動をおこなっています。声明発信の動機は啓発にあり、社会改革・改良を目指しています。昨年、神奈川県相模原市の障がい者支援施設において、入所者19人が殺害され、26人が重軽傷を負う事件が起きました。「障がい者に対する究極の人権侵害であり、虐待であり、生命の尊厳を冒瀆するものである。」と会長声明を発出しました。

ソーシャルワークの専門職として、様々な方々と連携させて頂き、平等で公正な社会の構築、社会福祉の発展・増進に寄与し、誰もが住みよい社会づくりを目指していきます。（林）

支える人たち

「こんな山辺にするじゃん会」
副会長 矢島維豊さん 監事 桐原真太郎さん

入山辺を盛り上げるため立ち上がった住民グループ、入山辺の魅力を地域と共に広げようと活動されている発起人メンバーのお二人に会の目的や取り組みについて伺いました。



一会の名前がわかりやすく親しみやすいですね。
正式名称は「入山辺地区の将来ビジョンを考える会」ですが、長いので、「こんな山辺にするじゃん会」が愛称として選ばれ定着しています。

一この会が立ち上げられたきっかけは？

私達二人は幼なじみで、現役引退後に再会、少子高齢化が進む昨今、入山辺の将来が心配になりました。人口減少、農業後継者不足、公共交通の縮小（H29年路線バス廃止）、早く考えないと地区の存続が危ぶまれる！と危機感を感じ地域おこしを勉強しようと、H23年に全国街づくり大会に参加したりもしました。

また、同年8月に開催された市政まちかどトークでは、市街化調整区域に指定されていることの弊害など、たくさん問題や意見が出されましたが、松本市のモデルケースとして、市と地域との協働で地域おこしに取りくむことを市長が約束。地域づくり課が窓口となり、連合町会長を中心に11月に会が発足し、活動を開始しました。現在会員は90名、多彩な人材に恵まれて絆を深めています。

一時々、新聞等で「するじゃん会」の記事を拝見しますが、活動も幅広いですね。

いろいろなグループが活動しています。

観光と魅力発信グループは、山辺ワイナリーに案内看板を設置しました。観光客も立ち寄る場所なので、季節にあわせたPRを充実させ、他にはブログを立ち上げました（現在はするじゃん新聞に移行）。入山辺の中でも地名は知っていても場所を知らない住民も多いため、愛着を深めてもらうべく、「入山辺のさんぽ」というパンフレットを制作、25集落に案内板も設置しました。

食農振興グループでは、休耕田を利用し「そばの栽培」や「田んぼのわプロジェクト」を企画し、子供達と田植えや収穫祭などを通して世代を越えて交流し、人の和を広げています。

住み易い地域づくりグループでは、3年間で300本植樹を行いました。送迎ボランティアの協力でひろば事業に沢山の方が参加できました。それから、入山辺で素敵な出会いの場を提供するイベント「入コン」も2回やりました。今年も開催する予定です。田舎好きな方、ぜひご参加ください。活動は元気づくり支援金を活用し、H28年には松本地方事務所長表彰を受けました。

会を立ち上げた当時、入山辺は市内で少子高齢化がトップクラスの深刻な状態でしたが、他所と違うことは売りになる、将来の歴史文化存続のためにも、と果敢に立ち上がったお二人。思い立ったら即行動、地元を愛し、入山辺独自のものを。と熱い情熱を注ぐ姿勢に感銘を受けました。会は7年目に入り、年間の活動も充実していますが、お二人は現状に満足せず、初心に戻り原点回帰の年にしたいと、意気込みを語ってくださいました。これから新緑の季節、豊かな自然をみつけに、入山辺へおさんぽに行かれてみてはいかがでしょうか。（インタビュー：塚原）

サポートセンター職員の素顔を

リレー方式で紹介!!

サポセン スタッフ日記 笠松

歳のせいでしょうか？時間の経過が異常に早い笠松です。サポートセンターにお世話になり始めてもう1年が経過しました。本当に「アッ!!」という間(汗)。私は主に夜間や土日祝日の勤務をしています。

今回スタッフ日記の順番が回ってきました。何を書こうか迷っていましたが「素顔を紹介」との事ですので、皆さんはおっさんの事なんか興味ないかもしれませんが、生い立ち等を書きたいと思います。出身地

は和歌山県、三重県の高校を卒業し、奈良県の企業へ就職。1998年長野オリンピックの年に転勤で長野県にやって参りました。長野県の第一印象は「木陰が涼しい！」感動のあまり、実家には戻らず長野県に住みついております。

ちょっとおかしなイントネーションで話してしまいましたがどうぞお許しください。お気軽に何でも話しかけて頂ければ嬉しいです。



■ イベント情報

塩尻市主催「ばそこん基礎講座」
暮らしの文書～レターセット編～
日時：5月29日(月)10:00～12:00
場所：塩尻市民交流センター
えんぱーく 2F ICT ルーム
受講料：400円
テキスト代：1,000円
※有料託児あり。要事前相談。
問合せ：pchiyoko@ghiyoko.net
TEL：0263-53-3350
(NPO法人グループHIYOKOまで)

伴走・伴歩体験会@松本
日時：5月21日(日)9:00～
以降、毎月第3日曜日
場所：長野県視覚障害者福祉センター
長野県松本盲学校体育館ほか
参加料：無料 ※要申込み
申込み：信州伴走・伴歩協会(大谷)
TEL：0263-33-4079
FAX：0263-88-3765
E-mail alpine.otani@gmail.com

イベントやボランティア募集情報、嬉しいニュース等、サポートセンターまでお寄せください。通信やホームページに掲載いたします。



今年も

開催します!

傾聴ボランティア養成講座

日時：7月中旬～8月初旬
全3回(単発受講可)
各回とも10:00～15:00
場所：市民活動サポートセンター
定員：30名(先着順)
参加費：1回受講500円
3回連続受講1,000円
対象：傾聴に興味のある方
※詳しい内容については、「広報まつもと」7月号をご覧ください。

保育士必見!あの頃のあの遊び
「わらべうたであそぼう」
日時：6月4日(日)10:00～11:30
場所：松南地区公民館・大会議室
参加料：500円 ※要申込み
問合せ：子どもの育ちを支える会
TEL：080-3491-8377
(会長・鎌倉)
申込み：チラシ下部に記入後FAX
FAX：0263-35-9139
※チラシはサポートセンターにあります

音訳録音ボランティア養成講座(全5回)
日時：①6月15日(木)②22日(木)
③29日(木)④7月14日(金)
⑤21日(金)10:00～12:00
場所：①②ふくふくらいず3階
③④⑤松本市中央図書館3階
参加料：1,000円(資料代)
定員：15名(締め切り5月31日)
問合せ：松本市朗読赤十字奉仕団
「ひびきの会」(担当・桐原)
TEL：0263-28-1489
080-1109-2476

■ サポートセンターより

普段怒りっぽい方へ

「こらあッ!! もお～ッ!! 何やってんのよお～ッ!!」って怒っちゃってませんか? あとになって「言い過ぎちゃったなあ～」って後悔するくせに…ね。でも大丈夫。すぐに怒らない優しいお母さん(お父さん)になれます!! 駄目で元々!! 試してみてください。やり方は超簡単!! 道具も必要ありません。何かのキッカケで、とっさに怒りを口にしそうになったその瞬間!!

- ①鼻から空気を一気に吸い込みます。普段の呼吸よりも少し早く・多く・少し長めに。
- ②吐き出す際は、細く・ゆっくり・少し長めに吐き出します。

以上。

不思議と次に出てくる言葉が変化します。「こらあッ!!」から「大丈夫?」この「一瞬間」のことを「あいま」と言います。漢字で書くと「愛の間」です。もちろん、お友達関係や上司と部下・取引先問わず、使えます。(笠松)

新スタッフ紹介

はじめまして。4月からサポートセンターに参りました田村です。まずは皆様方の活動を勉強するところから始めていきたいと考えていますので、よろしくお願ひします。(田村課長)

.....
はじめまして。4月より臨時職員としてお世話になります、犬飼と申します。少しでも早く、皆様のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願ひいたします。(犬飼)

プラチナサロン

日時：6月8日(木)10:00～15:00
午前の部 ホテルを学ぶ
午後の部 観察会に向けて
会場：市民活動サポートセンター
対象：おおむね55歳以上
参加費：300円(お茶代)

ふれあいサロン

日時：7月13日(木)10:30～14:00
10:30～13:00 障がい者施設による販売会
13:00～14:00 生演奏での合唱
会場：市民活動サポートセンター
対象：どなたでも
参加費：無料

編集後記

新しい年度を迎えると、初めて社会人になった春を思い出します。期待と不安が入り混じった何とも言えないそわそわした気持ちは、今でも忘れられません。

今号から編集担当が変更となりました。新しいスタッフも加わりましたので、気持ちも新たに頑張りたいと思います。(草間)